

# 技術検証について

## I 検出機能の検証

### 1 要素技術の実用可能性

- ・ 各要素技術の動作概要
- ・ 実用に向けた残課題とその解決の状況

### 2 要素技術の応用による警察事案の検出可能性

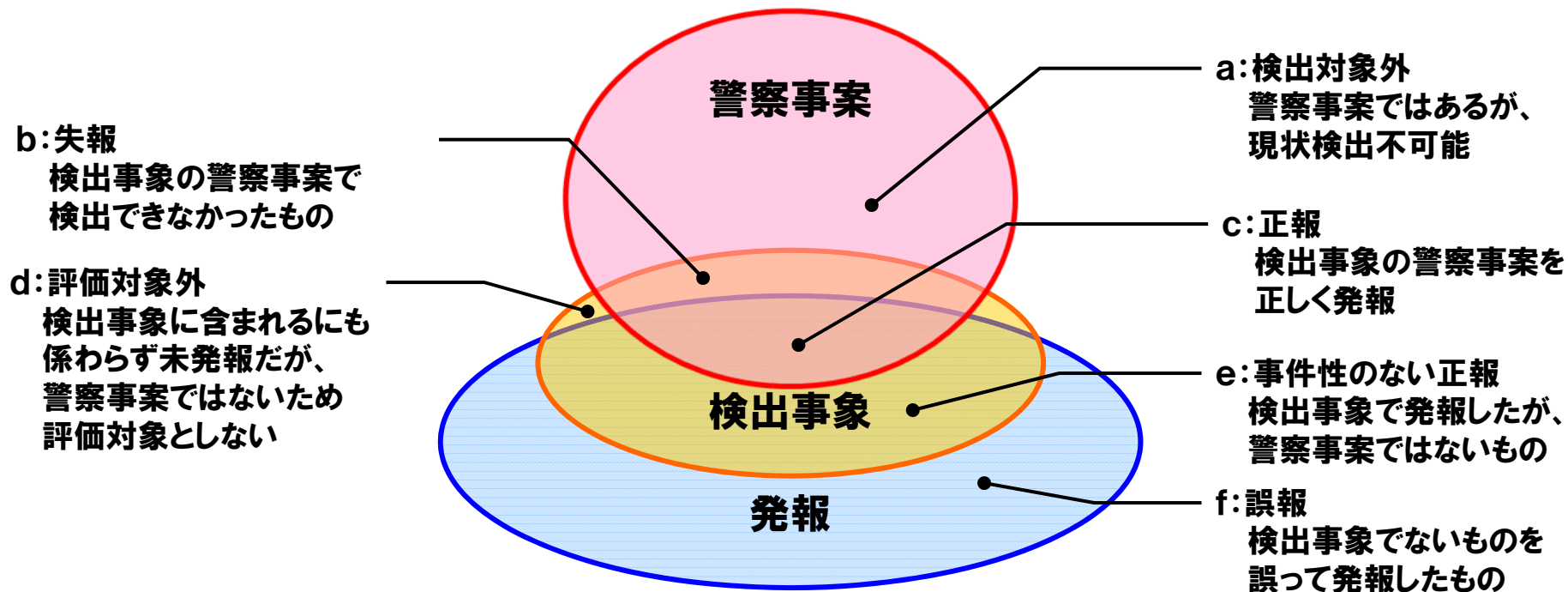
- ・ 検出可能な警察事案と活用する要素技術

### 3 実用化に向けた評価

- ・ 検出事象と警察事案の重複関係
- ・ 警察事案における正報・誤報の見通し

## II システムの操作性の改善

# 実用化に向けた評価 ~検出事象と警察事案の重複関係



**警察事案:** 警察活動の対象となる事案  
**検出事象:** 画像・音声などから異常行動として検出する事象

	c:正報	e:事件性のない正報	f:誤報
侵入者(車)	・車両による禁止場所通行及び一方通行の逆走	・貨物搬入カーゴなどの検出	・自転車の並列走行 ・自転車のライトによる逆光
置き去り	・酔っぱらいの路上での寝込み	・自転車の駐輪 ・一定時間立ち止まっている人物	・水たまり、ガラスなどへのライトの反射 ・カメラレンズに付着した雨滴
い集	・少年い集 ・野次馬	・成人のい集 ・繁華街などでの人だかり	・気象条件による誤検出
人流・逆行	・被疑者の逃走 ・被害者等による追跡	・事件に関係なく走る人物	
異常音	・被害者の悲鳴 ・交通事故などによる衝突音	・遊んでいる子供の奇声 ・工事などに伴う作業音	・サイレン音 ・動物の鳴き声 ・雷、風などの自然音

## 操作性の改善に向けた検討

改善すべき機能	改善理由	検討結果	現状	
システム設定に関する改善事項	運用者（警察）自らしきい値を調整して発報頻度を変えたい。	システムの性質上、微妙な調整技術を要することから、メーカーの技術者が実施する必要あり。	現状維持	
システム運用に関する改善事項	特徴検索機能	検索画面の操作がわかりにくい。  他の画像をシステムに取り込んで検索できない。	検索画面について、以下の変更を行い、操作性・視認性を改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力条件の具体化</li> <li>・複数人物の同時検索</li> <li>・撮影画角によるカメラ選択</li> <li>・検索結果の時系列化</li> </ul>	実施予定
	発報カメラの認知	発報したカメラを画面上ですぐ認知できるようにしてほしい。	発報したカメラの映像をモニター上ですぐに認知できるように画面を変更	検討中
	警報システムの一時的な停止	イベント開催や天候条件により発報が著しく増える場合に、警報システムを一時停止してほしい。	誤報の増えるおそれの高いカメラごとに、警報システムを停止できる機能を追加	実施予定
				検討中